

人と自然が共生する

出雲地方の地域づくりに向けて

～生態系ネットワークの構築に向けた取り組みが動き出します～

「国土のグランドデザイン2050 ～対流促進型国土の形成～」(平成26年7月 国土交通省)では、急速に進む人口減少に対応するために、多様性と連携による国土・地域づくりを基本的な考え方の一つとして、各地域の横並びを脱し、個性を深めていく必要があるとされています。

出雲地方の個性として、ラムサール条約登録湿地である宍道湖、斐伊川・神戸川は、ハクチョウ類・ガン類等の大型水鳥類が生息するポテンシャルを備えていると考えられるため、出雲市と国土交通省出雲河川事務所では、出雲地方における大型水鳥類を指標とした生態系ネットワークの構築に向けた取り組みを推進します。

このような取り組みを通じ、出雲地方の個性の発現に寄与することを期待し、生息環境づくり部会(準備会)・地域づくり部会(市民参加型フォーラム形式)を下記のとおり開催いたします。

記

【生息環境づくり部会(準備会)】

- ◆日時 : 平成27年1月30日(金) 14:00～16:00
 - ◆場所 : 国土交通省出雲河川事務所 大会議室
 - ◆内容 : 別紙「議事次第(案)」参照
- ※一般の方の傍聴は受付しません。

【地域づくり部会(市民参加型フォーラム形式)】

- ◆日時 : 平成27年1月31日(土) 14:00～16:30
- ◆場所 : 出雲市役所1Fくにびき大ホール
- ◆内容 : 別紙「出雲の地域づくりフォーラム チラシ」参照

生態系ネットワークとは…

自然を確保しつつ豊かな自然をつくっていく方法。貴重な自然を保全すると共に、細切れになった自然をつなぎ、生きものの移動経路を確保したり、自然の働きを回復させることによって、豊かな自然を再現しようとする取り組み。

生きものの視点に立ち、土地利用のあり方を考える生態系ネットワークは、生きものを守るための戦略的な方法であると共に、人間が持続的に豊かな生活を送るためのグランドデザインの基本となる。

<問い合わせ先>

■出雲市役所 都市建設部 建設企画課

【担当】課長 かねつき 鐘築 けんじ 健治

主査 たなか 田中 けいすけ 啓介

0853-21-6561 (直通)

■国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長 (技) あおと 青戸 せいじ 生治

【担当】計画課長 すずおき 鈴置 まお 真央

0853-20-1761 (直通)

生態系ネットワークによる大型水鳥類と
共に生きる流域づくり検討協議会（仮称）
生息環境づくり部会（準備会）

議 事 次 第（案）

日 時：平成27年 1月30日（金）

14：00～16：00

場 所：出雲河川事務所 1階 大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

(1) 会議開催の背景について

(2) 指標種の生息環境としての河川・農地等における対策について

(3) 今後のスケジュールについて

4. そ の 他

5. 閉 会

出雲の 地域づくり フォーラム



平成27年 1月31日(土)
14:00~16:30
出雲市役所 本庁舎
くにびき大ホール

地域の自然で人が潤う



豊岡市の成功事例に学ぶ

「コウノトリと共に生きる ～豊岡の挑戦～」中貝 宗治 豊岡市 市長

「出雲の鳥たちについて」佐藤 仁志 (公財)日本野鳥の会 理事長

パネルディスカッション 中貝 宗治 豊岡市 市長、長岡 秀人 出雲市 市長、
田邊 達也 出雲観光協会 副会長、岡田 達文 JAIいずも 常務理事

出雲の 地域づくり フォーラム

地域の自然で人が潤う
豊岡市の成功事例に学ぶ

中貝 宗治 豊岡市 市長

昭和29(1954)年11月4日、兵庫県豊岡市生まれ。平成13年に豊岡市長に初当選し、現在3期目を務める。著書は「鶴(こうのとり)飛ぶ夢」。

会場



出雲市駅北口から徒歩13分、または出雲市駅から一畑バスで「出雲市役所前」下車

問い合わせ

「出雲の地域づくりフォーラム」事務局
出雲市都市建設部建設企画課
TEL 0853-21-2211(代表)
国土交通省出雲河川事務所計画課
TEL 0853-20-1761

申し込み [1月28日(水)締切]

国土交通省出雲河川事務所計画課
〒693-0023
出雲市塩冶有原町 5丁目1番地
FAX 0853-21-2878
E-Mail: izumo@cgr.mlit.go.jp

出雲市と出雲河川事務所は環境にやさしいまちづくり、多くの生き物が行き交う、魅力的な地域づくりを目指して取組を行っています。今回は、コウノトリとともに環境にやさしいまちづくりに取り組んでいる豊岡市の中貝市長をお迎えし、人と自然が共存する取組についてのお話を伺います。パネルディスカッションでは、出雲のより良い地域づくりについて、さまざまなジャンルの方々との意見交換を行います。本フォーラムが、出雲の自然と地域を繋げるきっかけとなることを目指します。



概要

日時 平成27年1月31日(土)14:00~16:30 開場13:30
場所 出雲市役所 本庁舎くにびき大ホール 島根県出雲市今市町70
参加 無料 事前申込制(FAX、郵便またはメール)
定員 200名(申込先着順)
締切 1月28日(水)定員になり次第終了

プログラム

総合進行出雲ケーブルビジョン アナウンサー

| 開会挨拶 | 14:00

長岡 秀人 出雲市 市長

| 基調講演 | 14:05

「コウノトリと共に生きる ~豊岡の挑戦~」
中貝 宗治 豊岡市 市長

| 休憩 | 15:05

| 話題提供 | 15:20

「大型水鳥類の出雲平野への渡来状況について」
佐藤 仁志 (公財)日本野鳥の会 理事長

| パネルディスカッション | 15:35

コーディネーター

関 健志 (公財)日本生態系協会 事務局長

パネリスト

中貝 宗治 豊岡市 市長

長岡 秀人 出雲市 市長

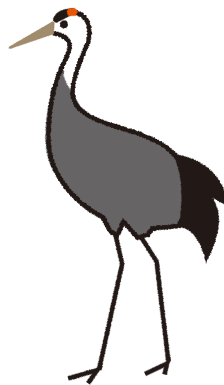
田邊 達也 出雲観光協会 副会長

岡田 達文 JAいずも 常務理事

| 閉会挨拶 | 16:25

舩田 直樹 出雲河川事務所 所長

| 閉会 | 16:30



FAX参加申込書

赤字の必須事項を記入し、FAX、郵便、またはメールにて1月28日までに申込先へご送付ください。

ふりがな

氏名

電話

連絡先 勤務先・自宅

〒

所属機関

e-mail

エコロジカル・ネットワークで豊かになる 私たちの自然、産業・経済、生活

エコロジカル・ネットワークがつくられると…

エコロジカル・ネットワークの取り組みを進めていくと、生物多様性の保全、ヒートアイランド現象の緩和、延焼防止などの防災効果、魚などの自然資源の確保、レクリエーションの機会の増加など、さまざまな効果が期待されます。



出典：国土交通省河川局河川環境課「人と自然との美しい共生 エコロジカル・ネットワーク」抜粋

【円山川(兵庫県豊岡市)における生態系ネットワーク形成の事例】

<主な経緯等>

昭和46年に野生のコウノトリが絶滅



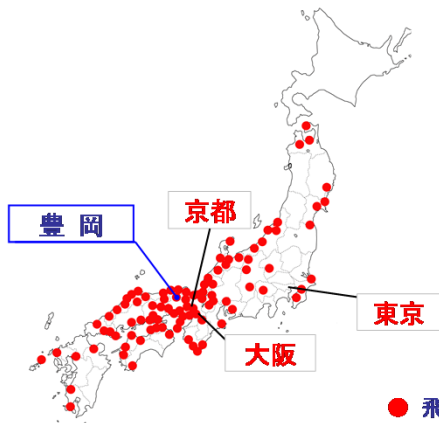
河川を軸とした地域全体での取組

- ・河川管理者による湿地整備
- ・自治体による人工巣塔整備
- ・地元による無・減農薬農法 等



平成17年にコウノトリの野生復帰が実現し、現在83羽が野外で生息

(H25.8時点)



(左)
円山川で育ったコウノトリの行動範囲
(豊岡市資料より)



<具体の取組み>

本川中流域
治水対策にあわせた湿地整備
(湿地面積が約5割増加)

改修前(2007年3月) 改修直後(2007年6月)

人工巣棟整備
(兵庫県・豊岡市)

加陽地区
地域と連携を行い、
湿地環境を再生

豊岡市街

ひのそ島
島の半分を掘削し、残りの半分は湿地状に切り下げを実施

農地
無農薬農法の実施等によりコウノトリの餌となるドジョウや小魚等の生育環境を確保

<波及効果>

- ・無農薬米のブランド化による農家所得増加
- ・エコツーリズム等による観光・経済への効果
- ・環境学習を通じた次世代の育成

